

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 市民-17 <input type="checkbox"/> 支援部門					海水浴場運営事業			タイムスコード及び個別事業名			
									397	海水浴場運営事業		
主管課	観光課		関連課	各部各課								
分野名	観光											
目標 (目標値)	観光振興に関する観光客及び市民の満足度を高める。平成22年度までに観光客80%、市民90%が目標数値。入込観光客数を現状値(17年の1840万人)以上とする。											
人口等の データ	データ区分	21年度		20年度		備考						
	人口	176,669人		176,484人		・各年4月1日 (住民基本台帳) ・海水浴客数						
	世帯数	78,131世帯		77,430世帯								
	海水浴客	784,700人		1,134,400人								
運営資源 状況	決算値	44,017千円		45,119千円					指標と評価			
	(国・県)								指標	海水浴客数		
	(負担金等)	600千円		1,268千円					評価	△		
	(一般財源)	43,417千円		43,851千円					◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
	人員配置数	0.75人		0.75人					目標値	実績値		
	人件費	7,324千円		7,295千円					20年度	95.8万人	113.4万人	
	協働の パートナー	鎌倉市海水浴場連絡会		鎌倉市海水浴場連絡会					21年度	95.8万人	78.5万人	
事務事業 運営経費	総事業費	51,341千円		52,414千円					22年度	95.8万人		
	市民1人当りの経費	291円		297円					23年度	95.8万人		
	対象者1人当りの経費	65円		46円					最終年度 (年度)	95.8万人		
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名	藤沢	逗子	葉山	三浦	鎌倉						
	海水浴客	4,231,920	242,500	126,798	781,202	784,700						
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか)										
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	海の家営業時間について、依然隣接市との差異があるため引き続き検討が必要。 (課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・海を家の営業時間の短縮等について、海水浴場連絡会と協議、検討を行った。 ・その結果海水浴場連絡会の自主規制の見直しが行われ、音の出るイベントの時間短縮と内容規制が盛り込まれた。										
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・海を家の営業時間について、近隣都市と時間のばらつきがあることから、警察などから引き続き短縮が求められている。										
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・引き続き海水浴場連絡会に営業時間の見直し要請をするとともに、神奈川県に対しても県内統一ルールの検討について要望を行う。										
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)							
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了												
評価結果	改善の必要性	・市民・観光客の誰もが安全で安心して楽しい思い出ができる海水浴場になるように関係機関と調整していきたい。					評価結果	改善の必要性	・様々な年齢層の海水浴客がいつでも安心して楽しめる海水浴場となるように近隣都市とも協力していきたい。			
B	有						B	有				
課長名		鶴見 俊之					部名・部長名		市民経済部・小磯 一彦			